

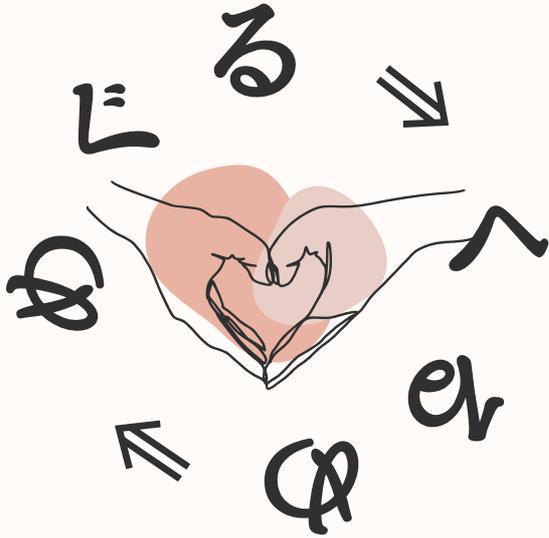
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

7月24日（月）

久留米広域消防職員協議会の皆さん

久留米市災害ボランティアセンターでボランティア活動を行うのは今回が2回目です。日頃はそれぞれの所属で消防の仕事に従事していますが、**地元の団体として皆さんの暮らしを少しでも応援したい思いから活動を続けています。**

まだまだボランティアの助けを待つ住民の方はとても多くいらっしゃいます。ボランティアが来ることで多くの方が安心した表情をされます。

一緒にやってみましょう！

リーダー：宮崎 仁吾



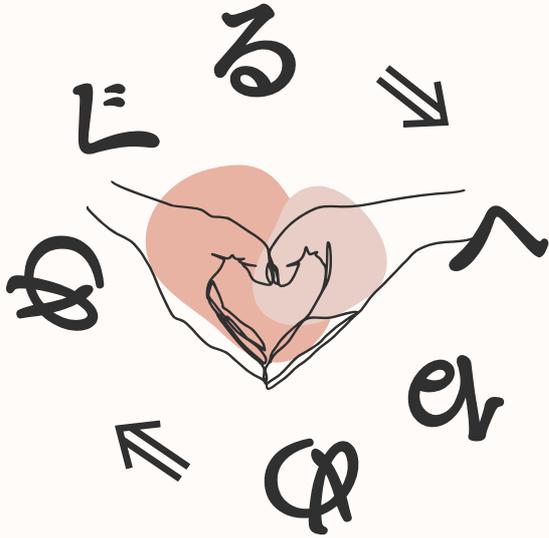
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

7月24日（月）

株式会社九電工アカデミーの皆さん

今年の新入社員43名と指導者13名で参加をしました。電気を扱う会社だからこそ今回の災害で苦労や不便を抱えている人の気持ちが痛いほどわかります。

今年社会に飛び込んだ若い社員たちが災害の現場で一生懸命に努力している被災者の暮らしやそのなかで少しだけでもお手伝いできたことは、会社としても大切な経験になったと思います。

「企業だからこそできることもたくさんある」被災地はもっともっとたくさんの人の支援の手を求めていることを再確認しました。引き続き被災地に寄り添える活動を続けていきます。

リーダー：則行 泰男



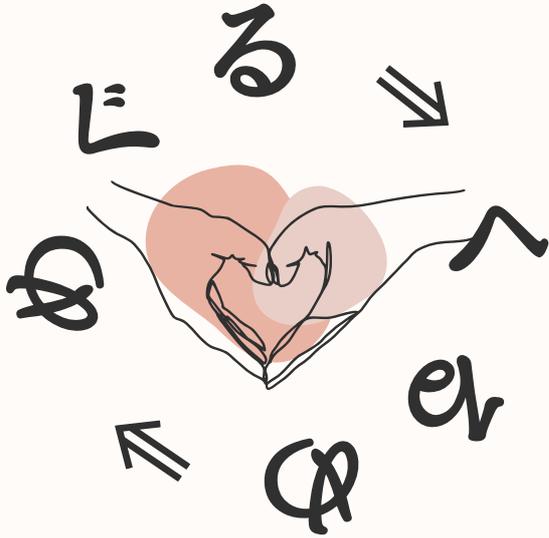
久留米市災害ボランティアセンター

「他人ごとじゃない」そんな思いが…めぐり、届く

「これまでのつながりや文化を守りたい」地域愛が…めぐり、広がる

「たくさんの人に支えてもらって前を向ける」人のぬくもりが…めぐり、支える

「私のまちも助けてもらった」恩送りのやさしさが…めぐり、つながる



より多くのボランティアの
お力が必要です
あなたの「できる」が
被災者の「生きる」につながります

7月24日（月）

福岡県立稲築志耕館高等学校サッカー部の皆さん

「夏休みの今だからこそできることをしよう」チームで話し合って、ボランティアに参加しました。

私たちから見たらおじいちゃんやおばあちゃんくらいの家は泥だらけでした。床下から泥を出したり、床板を磨いたりチームワークを大切に活動をしました。

家の方は「本当にうれしい、みんなが来たから明日も頑張れる」とお礼を言ってくれました。

高校生でもできることはたくさんあると思いました。

リーダー：3年生 小林 瑞季

